



戦後女性教員史

—日教組婦人部の労働権確立運動と産休・育休の制度化過程—

跡部 千慧 2020年発行

同時1アクセス(本体)	¥5,280	同時3アクセス(本体)	¥6,380
冊子版ISBN	9784866170817	商品コード	1031843690

1960年代から70年代を中心とした、日本教職員組合(日教組)婦人部の労働運動に着目し、その運動の過程を丁寧に追ひ、当時の女性解放論や母性保護論争を絶えず参照した組合員の実像を明らかにする。



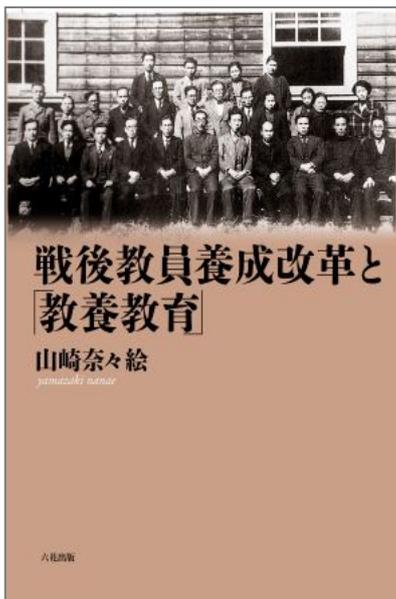
「女教員」と「母性」

—近代日本における<職業と家庭の両立>問題—

齋藤 慶子 2014年発行

同時1アクセス(本体)	¥4,840	同時3アクセス(本体)	¥6,050
冊子版ISBN	9784905421689	商品コード	1031389225

「女教員」たちは、男性教員と同等に働いているという誇りと「母性」という女性教員の特質を強調することの矛盾をかかえていた。現在の「育児時短」につながる「部分勤務制」の提案は、ほんとうに「両立」を可能にして女性教員の生活を豊かにしたのか。低賃金の女性教員を確保しようとする帝国教育会の思惑、むしろ地位が低下するのではないかと恐れる現場の女性教員の思いを全国大会や地域の女性教員会の記録などから読み解いた著。



戦後教員養成改革と「教養教育」

山崎 奈々絵 2017年発行

同時1アクセス(本体)	¥5,720	同時3アクセス(本体)	¥6,820
冊子版ISBN	9784866170237	商品コード	1031843692

戦後の教員養成改革の実態を、教養教育の変遷から丁寧に検証し描き出した労作。一般教養を重視して「師範タイプ」を克服するという、戦後教員養成の理念は、新制の教員養成系大学／学部が発足にあたり実質を伴っていたのだろうか。教育刷新委員会の議事録や各大学の沿革史はもちろん、IFELや大学基準協会などの動向、戦後初期の師範学校、再編後の教員養成系大学のカリキュラムや教員組織といった細部までを検証し、その実相に迫る！



動員される母親たち

—戦時下における家庭教育振興政策—

奥村 典子 2014年発行

同時1アクセス(本体)	¥4,400	同時3アクセス(本体)	¥5,500
冊子版ISBN	9784905421696	商品コード	1031843691

戦時下、学校・家庭・地域社会を舞台に「家庭教育」の振興が追求された。母親を中心とした女性を教化・組織した、振興政策の本質は何だったのか。国が構想した家庭教育の内実、そして各地で展開した「母の講座」「母親学級」「母の会」などを検証し、その実態を明らかにする。戦時下の教育と女性運動の問題を問いかける書！



精神病患者と私宅監置 —近代日本精神医療史の基礎的研究—

著編者名	橋本 明	発行年	2011
同時1アクセス(本体)	¥4,400	同時3アクセス(本体)	¥6,600
冊子版ISBN	9784905421085	商品コード	1018934235

精神医療史研究の立場から、私宅監置の実態を忠実かつ具体的に再現し、実証的な手法で私宅監置制度の本質に迫る。大分県公文書館所蔵「昭和十五年監置精神病患者に関する綴」の文書群一覧も収録。

● 表示価格は税抜きです。

2020年6月